

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和7年5月2日(2025.5.2)

【公開番号】特開2024-171937(P2024-171937A)
 【公開日】令和6年12月12日(2024.12.12)
 【年通号数】公開公報(特許)2024-233
 【出願番号】特願2023-89312(P2023-89312)
 【国際特許分類】
 A 6 3 F 7/02(2006.01)
 【F I】
 A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

10

【手続補正書】
 【提出日】令和7年4月23日(2025.4.23)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

20

動作可能に構成される動作手段を備えた遊技機において、
弾性変形可能に構成される弾性手段を備え、
前記動作手段の動作に伴い作用部が所定領域に位置する変位体に作用された場合に当該変位体の変位され得るように構成され、
少なくとも所定位置を変位されている前記変位体が窓部を通じて遊技者に視認され得るように構成され、
前記作用部が前記変位体に作用される際の前記動作手段の動作速度が所定速度よりも遅い場合には、前記作用部の作用により変位される前記変位体が前記所定位置まで変位されず
前記弾性手段に非当接とされ、
前記作用部が前記変位体に作用される際の前記動作手段の動作速度が前記所定速度よりも速い場合には、前記作用部の作用により変位される前記変位体が前記所定位置を変位され
当該変位された前記変位体が前記弾性手段に当接され得るように構成され、
前記作用部が前記変位体に作用される際の前記動作手段の動作速度が少なくとも前記所定速度よりも速い場合において前記作用部の作用により前記所定位置を変位された前記変位体を検出し得るように構成される検出手段を備え、
前記動作手段が、所定の区間で第1方向と前記第1方向とは反対の第2方向とに繰り返し動作され得るように構成され、
前記変位体が前記作用部の作用により変位される場合に、前記変位体が前記作用部から離れる態様で変位され得るように構成され、
少なくとも前記変位体が前記作用部の作用により変位される前において、前記変位体と前記作用部とが離間された状況が構成され得ることを特徴とする遊技機。

30

40

【手続補正2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0002
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0002】

動作手段の作用部が変位体に作用されると変位体の変位され得る遊技機が知られている(

50

特許文献 1)。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献 1】特開 2022 - 109326 号公報

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、上述した従来の遊技機では、変位体の変位に関して改善の余地があるという問題点があった。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、上記例示した問題点を解決するためになされたものであり、変位体の変位に関して好適とできる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

この目的を達成するために請求項 1 記載の遊技機は、動作可能に構成される動作手段を備えたものであり、弾性変形可能に構成される弾性手段を備え、前記動作手段の動作に伴い作用部が所定領域に位置する変位体に作用された場合に当該変位体の変位され得るように構成され、少なくとも所定位置を変位されている前記変位体が窓部を通じて遊技者に視認され得るように構成され、前記作用部が前記変位体に作用される際の前記動作手段の動作速度が所定速度よりも遅い場合には、前記作用部の作用により変位される前記変位体が前記所定位置まで変位されず前記弾性手段に非当接とされ、前記作用部が前記変位体に作用される際の前記動作手段の動作速度が前記所定速度よりも速い場合には、前記作用部の作用により変位される前記変位体が前記所定位置を変位され当該変位された前記変位体が前記弾性手段に当接され得るように構成され、前記作用部が前記変位体に作用される際の前記動作手段の動作速度が少なくとも前記所定速度よりも速い場合において前記作用部の作用により前記所定位置を変位された前記変位体を検出し得るように構成される検出手段を備え、前記動作手段が、所定の区間で第 1 方向と前記第 1 方向とは反対の第 2 方向とに繰り返し動作され得るように構成され、前記変位体が前記作用部の作用により変位される場合に、前記変位体が前記作用部から離れる態様で変位され得るように構成され、少なくとも前記変位体が前記作用部の作用により変位される前において、前記変位体と前記作用部とが離間された状況が構成され得る。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

50

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項1記載の遊技機によれば、変位体の変位に関して好適とできる。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】13896

【補正方法】変更

【補正の内容】

【13896】

10

H10

パチンコ機（遊技機）

H14e

窓部

D120, D2120, D3120, D4120 上側揺動手段（変位体）

D130

下側揺動手段（変位体）

D143b2

突設部（作用部）

D147b

突設部（作用部）

D153b2

突設部（作用部）

D157b

突設部（作用部）

D143

第1正面カム（動作手段）

D147, D2147

第2正面カム（動作手段）

20

D153

第1正面カム（動作手段）

D157

第2正面カム（動作手段）

D181

上側パネ（弾性手段）

D182

下側パネ（弾性手段）

D2183

付勢手段（弾性手段）

30

40

50